

# 目 次

ページ

## 山梨県立美術館協議会資料

平成31年2月22日(金)

## 山梨県立美術館

<u>山梨県立美術館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県附属機関の設置に関する条例 他</u>	2
<u>山梨県立美術館組織図</u>	4
<u>指定管理者組織図</u>	5
<u>山梨県立美術館活動報告(概要)</u>	6
<u>40周年事業について</u>	7
<u>観覧者数の推移</u>	8
<u>施設利用者の状況</u>	9
<u>平成30～31年度 特別展等一覧</u>	10
<u>教育課程の実施状況について</u>	11
<u>指定管理者活動報告</u>	17
<u>山梨県立美術館協力会について</u>	21

## 山梨県立美術館協議会委員名簿

任期:平成30年10月1日～平成32年9月30日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	ほりうち まさき 堀内 正基	山梨県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 (北杜市教育長)
"	しおじま あけみ 塩島 明美	山梨県社会教育委員連絡協議会代表	社会教育関係 (市川三郷町社会教育委員)
"	むこうやま ふじお 向山 富士雄	南アルプス市立美術館館長	学識経験者 (南アルプス市立美術館館長)
"	つるた いちよう 鶴田 一香	山梨県文化協会連合会代表	学識経験者 (山梨県文化協会連合会会長)
"	ふるや ともしこ 古屋 知子	元山梨県教育委員会教育委員長	学識経験者 (元山梨県教育委員会教育委員長)
"	てづか よしひこ 手塚 義彦	山梨美術協会代表	学識経験者 (山梨美術協会代表)
"	たかの まごぞえもん 高野 孫左エ門	株式会社吉字屋本店代表取締役社長	学識経験者 (株式会社吉字屋本店代表取締役社長)
"	のぐち えいち 野口 英一	報道関係	学識経験者 (山梨放送・山梨日日新聞社社長)
"	かねまる やすのぶ 金丸 康信	報道関係	学識経験者 (テレビ山梨代表取締役社長)
"	つじむら かずと 辻村 和人	報道関係	学識経験者 (NHK甲府放送局局長)
"	むとう まさみ 武藤 正美	山梨県立美術館協働会代表	学識経験者 (山梨県立美術館協働会副会長)
"	おさお ともこ 小澤 智子	公募委員	家庭教育関係者
"	かわぐち 園子 川口 園子	公募委員	家庭教育関係者
任命	のなか るみ子 野中 るみ子	山梨県公立小中学校校長会代表	学校教育関係 (甲府市立石田小学校校長)
"	てしま としき 手島 俊樹	山梨県高等学校校長協会代表	学校教育関係 (県立甲府西高等学校校長)

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 知事の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

**山梨県立美術館協議会**

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二及び別表第三の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事（教育委員会の附属機関にあつては、教育委員会。以下同じ。）が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。（会長等）

第五条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第八条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第一（第二条、第四条関係）

二 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法(昭和二十六年法律第二百八十五号)第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以上 内	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	二年

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠委員の任期）

第三条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（平六教委規則二・旧第二条線下）

（会長及び副会長）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	過半数
山梨県へき地等教育振興審議会	過半数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数
山梨県地方産業教育審議会	過半数
山梨県スポーツ振興審議会	過半数

（意見の陳述）

第九条 関係職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

（定例会及び臨時会）

第十二条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	開催回数
山梨県立美術館協議会	年三回
山梨県考古博物館協議会	年二回
山梨県文学館協議会	年二回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

（昭六一教委規則一・旧第十一条線下、平元教委規則五・一部改正）

（庶務）

第十三条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	所属
山梨県図書館協議会	図書館
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	高校教育課
山梨県へき地等教育振興審議会	義務教育課
山梨県特別支援教育振興審議会	高校教育課
山梨県立美術館協議会	美術館
山梨県考古博物館協議会	考古博物館
山梨県文学館協議会	文学館
山梨県地方産業教育審議会	高校教育課
山梨県スポーツ振興審議会	スポーツ健康課

（昭六一教委規則一・旧第十二条線下・一部改正、昭六三教委規則七・平元教委規則五・平四教委規則三・平六教委規則二・平八教委規則四・平九教委規則八・平一九教委規則三・一部改正）

（委任）

第十四条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

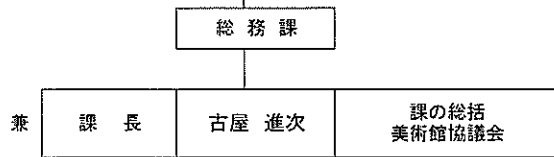
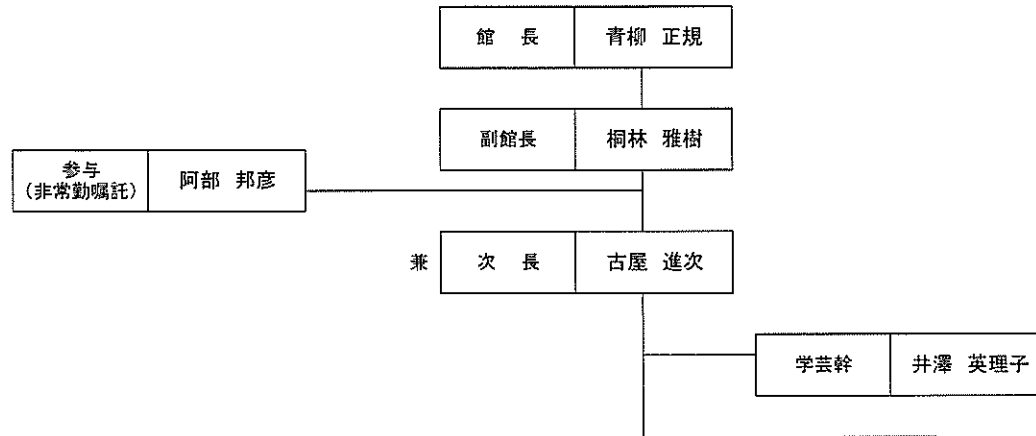
第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

# 美術館組織図

平成30年4月1日現在

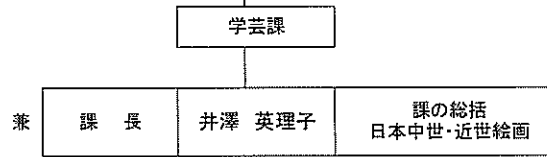
所屬名	県立美術館		
正規職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	計
12	6		18
兼(1)			兼(1)

※次長は文学館勤務で、美術館と兼務



職名	氏名	主たる業務
リーダー 主幹	望月 博史	担当の総括 予算管理
主任	高山 慎之介	会計・総理 旅費・福利
非常勤 嘱託	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会
非常勤 嘱託	川村 瑛子	事務補助

※次長は文学館勤務で、美術館と兼務



## 学芸担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	平林 彰	担当の総括 日本近世・近代絵画
学芸員	太田 智子	西洋近代絵画、現代美術
学芸員	小坂井 玲	西洋近代絵画
学芸員	森川 もなみ	西洋・日本近代美術
学芸員	下東 佳那	日本現代美術・現代洋画
非常勤 嘱託	雨宮 千鶴	学芸補助
非常勤 嘱託	伊藤 茜	学芸事務

## 普及担当

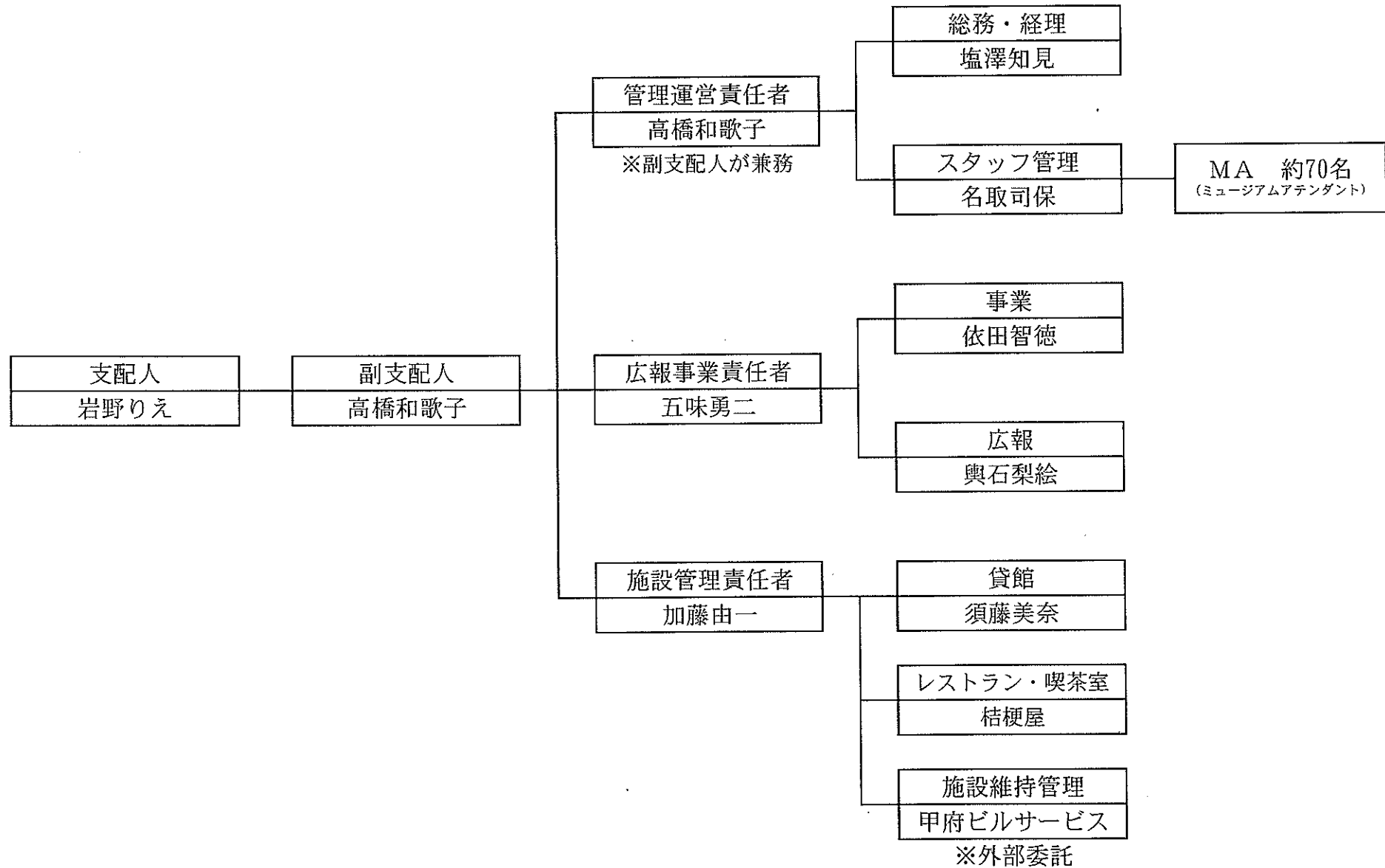
職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	高野 早代子	担当の総括 県関係作家、保存
主査・ 教育主事	滝澤 智子	美術館教育
副主査・ 教育主事	百瀬 淳一	美術館教育
非常勤 嘱託	保坂 広光	協力員指導

## 美術館協力会

職名	氏名	主たる業務
協会会 職員	小杉 佳子	協会会経理
協会会 職員	矢崎 理江	協会会経理

平成30年度指定管理者  
組織体制（文学館と兼務）

平成30年10月1日現在



山梨県立美術館活動報告（概要）平成30年度後期 並びに31年度

美術館活動における長期目標

- 県民の美術に関する知識・教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため以下のような長期目標を掲げる。
  - 【展示／見る】幅広いジャンルと質の高い特別展と「西洋美術」「山梨ゆかりの美術」「日本の近現代美術」などのコレクション展（常設展）の一層の充実を図る。
  - 【教育普及／学ぶ】生涯学習の進展や教育課程における総合学習の充実化にともない、より多様な学習機会の提供を行う。
  - 【付加価値・魅力／憩う】本来の美術館機能に加え、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行う。

平成30年度後期の活動の状況

【展示／見る】多様な来館者ニーズに応え、幅広いジャンルの特別展や魅力あるコレクション展を開催する。

- 〈コレクション展〉
- ・従来の常設展のイメージを一新した展示空間の創作に心がけ、テーマ展示や企画コーナーを設けるなど、新たな魅力ある展示を行う。
    - 秋季「開館40周年記念 リレー企画 泉美図鑑 Vol.3 版画」
    - 冬季「開館40周年記念 リレー企画 泉美図鑑 Vol.4 洋画」
    - 春季「新収蔵 野口コレクションの精華」ほか
  - 「ミレー館」写真撮影フリーの日の実施
    - ・県民の日（11月20日）に限定して、ミレー館の作品の写真撮影（フラッシュ、三脚等禁止）を許可。
  - 「平成30年度 新収蔵品展」2019年2月2日（土）～3月3日（日）
    - ・平成30年度に寄贈された作品の中から約45点を展示。

- 〈特別展〉
- ・銅版画の詩人 追悼 深沢幸雄展 9月1日（土）～10月8日（月・祝）
  - ・シャルル＝フランソワ・ドービニー展 バルビゾン派から印象派への架け橋 10月20日（土）～12月16日（日）

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。県民のニーズに対応した美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや高齢者、障がい者への実技講座やレクチャーなどの実施。学校と連携して、児童生徒への鑑賞・実技指導を実施。また、学校教師への鑑賞教育・実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深めた。美術館から職員が外に出て、様々な会場でのワークショップや授業、鑑賞研修会などを実施。

- 〈活動内容〉
- ・キッズプログラム（小中高生対応） ・校外学習対応として展示室での鑑賞、実技体験及び職場体験活動
  - ・学校への出前授業 ・アートボックスの貸し出し・アートカードのレクチャー ・造形広場 ・創作教室
  - ・みんなでつくる美術館（みなび展）の実施 ・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座
  - ・ことぶき勤学院への協力（総務課対応） ・ギャラリー・トーク ・映画会
  - ・美術体験・実技講座（初心者・障がい者含む） ・県民ギャラリー利用者の創作活動PR支援

【付加価値・魅力／憩う・広報活動】＜魅力あふれる美術館をめざして＞

- 〈質の高いサービス提供〉
- ・美術館ボランティアのスキルアップをめざして研修・学習会を実施。
- 〈様々な付加価値の創造〉
- ・地元音楽家・団体や学校現場との協働によるロビーコンサートを毎週日曜日に開催。（SPS）
  - ・レストランサービスの向上をめざして運営企業と情報交換・協議。
  - ・ミュージアム甲斐 in 券並びに定期観覧券所持者への割引サービス。売店、レストラン。
  - ・首都圏からの来館者増を目的に、中央紙への広告の掲載。（SPS）
  - ・芸術文化のまちづくりでNPOを支援＝貢川アートフェスタ後援
- 〈県・指定管理者・県民との円滑なリレーションシップ〉
- ・本美術館の特色・魅力を十分に伝えられる情報発信・積極的な広報とパブリシティの実施。
  - ・展覧会事業を報道機関と共催、県民への情報提供の機会を大幅に増やすことができた。
  - ・新たな集客に向け、アンケートによる調査などを積極的に取り入れ、県民ニーズの把握に努める。

～開館40周年記念事業～

- ・開館40周年記念事業の一環として「文化の種まきプロジェクト」を実施。 ※別紙参照
- ・「文化の種まきプロジェクト」の一部は、文化庁「平成30年度文化芸術振興費補助金 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」から補助金が交付される。
- ・ミレー館の大幅な展示替えを行い、より分かりやすく、より鑑賞しやすい展示を実現（2019年3月12日～）。

中期目標と平成31年度の具体的活動予定

- 1, 山梨の美術を再検証するとともに、郷土関係作家の新たな展覧会を企画立案する。
- 2, 様々なジャンルや時代・国の美術を紹介する特別展をバランス良く展開する。
- 3, アンケート調査などを取り入れ、県民ニーズ等の把握に積極的に取り組み集客力の向上を図る。
- 4, 広報活動の強化。

【展示／見る】

・開催趣旨と目標（集客、研究、人気もの etc）を明確にした企画展の開催と、リピーターとして何度も美術館に行きたくなるような魅力あるコレクション展示の創出を図る。

- 〈コレクション展〉
- ・従来の常設展のイメージを一新した展示空間の創作に心がけ、テーマ展示や企画コーナーを設けるなど、新たな魅力ある展示を行う。
    - ・ミレー館・テーマ展示室・萩原記念室を使った年4回の展示替えを実施。
    - ・テーマ展示や新設コーナーを設け、特別展のようなタイトルを付けるなど、興味を持って鑑賞してもらえるような工夫や配慮し、積極的に広報する。（特にテーマ展示室）

- 〈特別展〉 ※別紙 H31 特別展概要参照
- ・デザイン あ展 in YAMANASHI 4月13日（土）～6月9日（日）
  - ・黄昏の絵画たち（仮称） 6月22日（土）～8月25日（日）
  - ・萩尾望都SF原画展（仮称） 9月7日（土）～10月4日（月・祝）
  - ・現代日本の工芸（仮称） 11月16日（土）～1月13日（月・祝）

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

- ・アート・カードを導入した、新たな作品鑑賞の「見るヒント」「感じるヒント」の一助になる実践を紹介。
- ・県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや障がい者への実技講座なども実施していく。
- ・教育現場と連携して、年齢ごとの学びの場として会場を提供し、キャリア教育等にも活かしていく。
- ・学校と連携して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校の教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。

- 〈活動内容〉
- 「博学連携を中心とした学校・社会教育施設との連携強化」
  - ・キッズプログラム（小中高生対応） ・映画会 ・職場体験授業 ・校外学習への対応（オリエンテーション、展示室での鑑賞、実技体験） ・ギャラリートーク ・学校への出前授業 ・アートボックス貸出
  - ・施設の貸出 ・創作教室 ・造形広場 ・みんなでつくる美術館（みなび） ・教師のための鑑賞研究会
  - ・大人のための美術講座 ・美術体験・実技講座（初心者・障がい者含む） ・ギャラリー・トーク
  - ・アート・カードのレクチャー及び貸出
  - 「地域との連携強化」
  - ・美術館周辺校との連携（新田小学校の総合学習の時間を利用したギャラリー・トークの実施）。

【付加価値・魅力／憩う・広報活動】美術館への好感度向上をめざして、さまざまな取り組みを実施。

- ・質の高いサービスを提供するため、研修の強化などを行い、引き続き美術館ボランティア（案内、解説、情報 etc.）のスキルアップに務める。
- ・様々な付加価値の創造に継続して取り組む。
- ・地元音楽家・団体、学校のコーラス部との協働による週末のロビーコンサートや小イベントを継続して実施。
- ・ミュージアムショップでの楽しい買い物に向けて、魅力ある新商品の開発等を実施。
- ・県民との円滑なリレーションシップを目指して、本美術館の特色・魅力をしっかりと情報発信。
- ・やまなしの文化情報ネットワークやノウハウを最大限活用した積極的な広報とパブリシティの実施。

▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶これらの取り組みを着実に進めて、より多くの県民の来館に結びつける。

## 開館40周年記念事業「文化の種まきプロジェクト」 事業報告一覧

イベント	実施日	内容	参加人数
「美術館と私」エッセイ募集 および展示	10月16日～2019年3月3日	懐かしい思い出、作品との出会い、お気に入りの場所、期待することなど…。県の内外から寄せられた体験や思い出、メッセージなど、山梨県立美術館とのかかわりをつづったエッセイを募集し、応募作品全77点をエッセイ集に収載、37点を選出して展示をした。	応募数 77名 観覧者数 未定
秋の四十賀茶会	11月3日、4日	美術館の誕生日を祝し、おもてなしと感謝の意味を込めて、和×アートな雰囲気の中でお茶会(「大茶会」「申込制茶会」)を催した。県内アーティストによるインスタレーションや道具に囲まれて、展覧会とは違う方法で美術を味わってもらった。「大茶会」は、ミレー《種をまく人》にちなみ、造園技術を用いて空間をデザインする天野慶氏が「水と土と木」をテーマに制作した設(しつら)えの中で、お茶会を催した。「申込制茶会」は、ミレー《夕暮れに羊を連れ帰る羊飼ひ》にちなみ、「光」をテーマにした設えの中でお茶会を催した。	大茶会 195名 申込制 51名
ワイン茶会	11月11日	作品鑑賞とあわせて、最近国内外で注目されている山梨県産ワインを堪能してもらうことで、五感で楽しむ美術館体験の機会を提供した。	19名
記念シンポジウム	11月17日	当館コレクションとして多くの作品を所蔵するバルビゾン派の画家ドービニーについて、画業を多角的に検討するシンポジウムを開催した。	84名
歴代館長トークショー	11月20日	当館の歴代館長3氏(濱田隆氏、島田紀夫氏、白石和己氏)によるトークショーを開催した。県美40年をふり返るとともに、さまざまな経験とそこから得られた館運営の指針をお話いただいた。3氏それぞれが、時代に合った美術館の在り方を模索され、その姿勢から導き出された方向性が館の歴史となってきたことを伺うことが出来た。また、それらの方針に基づき、次の時代、そして未来の美術館像について提言をいただいた。	85名
みんなでつくるお茶室&お茶会 誰もが主役のワークショップ	12月4日～8日(ワークショップ) 12月9日、11日(お茶会) 12月5日(講演会)	造形作家、茂井健司氏のインスタレーションの作品に、みんなで絵を描いたり、カットティングシートを貼って茶室を制作し、お茶会を開催した。一般の方に混じり障がい者施設が団体で参加した。お茶のお手前、おもてなしは県内高等学校茶道部12校が行った。また、伊藤美輝氏(山梨学院短期大学教授)の講演会も開催した。	ワークショップ 183名 お茶会 192名 講演会 198名
視覚障がい者とつくる 美術館ワークショップ	12月16日	「見える」「見えない」にかかわらず、ことはを交わしながら一緒に美術を鑑賞するワークショップ。さまざまな視点をもちよることで一人では出会えない新しい美術の楽しみ方を発見した。誰もが主役となり、気軽に美術館を訪れ、感じていることや、想像したことを自由に語り合う美術鑑賞のスタイルを目指した。	22名
認知症ケア美術鑑賞 ワークショップと講演会	2019年1月9日	認知症の方のケアにつかがるワークショップ。当館の作品を見ながら、アートコンダクターが質問するスタイルで対話型鑑賞を進めた。アートを通し、認知症の方の想像が膨らみ、過去を呼び覚ます時空を越えた会話が弾んだ。またアーツライブ代表の林容子氏を招き講演会「アートの力で人々・社会をイキイキと」を行った。	WS 40名 講演会 50名
地震対策研修会	2019年1月17日	ミュージアム甲斐ネットワーク(MKN)に登録した山梨県内の美術館・博物館施設の学芸員を対象に地震対策についての研修を行った。	20名
スペシャル館長トーク	2019年3月2日	特別ゲストに三枝昂之氏(山梨県立文学館館長)を招き、芸術について、また美術館と文学館の役割、さらには「芸術の森公園」の未来像について対談していただく。	—



山梨県立美術館の観覧者数の推移

年度	開館日数	常設展	特別展・新収蔵品展等	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,803	175,053
22	310	98,986	61,123	160,109
23	310	103,181	84,090	187,271
24	311	120,650	67,736	188,386
25	306	97,569	59,204	156,773
26	308	137,316	112,138	249,454
27	307	97,675	103,380	201,055
28	306	80,474	68,718	149,192
29	305	76,898	67,127	144,025
計	11,791	9,602,939	3,722,425	13,325,364

平成30年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	6,541
5	27	8,156
6	26	6,781
7	26	8,471
8	28	13,281
9	26	8,572
10	26	9,050
11	26	12,965
12	21	4,855
1	26	3,796
2		
3		
計	258	82,468

前年同期比 118.7%

特別展・新収蔵品展等 (H31年1月まで)

展覧会名	開催日数	観覧者数
佐野洋子展	51	18,849
魔法の美術館	51	57,860
深沢幸雄展	33	5,898
ドービーニ展	50	19,370
H30新収蔵品展		
	185	101,977

平成29年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	6,756
5	27	8,811
6	26	6,561
7	26	5,949
8	29	9,167
9	26	7,093
10	26	8,512
11	27	9,409
12	21	3,614
1	27	3,631
2	24	3,783
3	20	3,612
年度計	305	76,898

H29.1月まで計	261	69,503
-----------	-----	--------

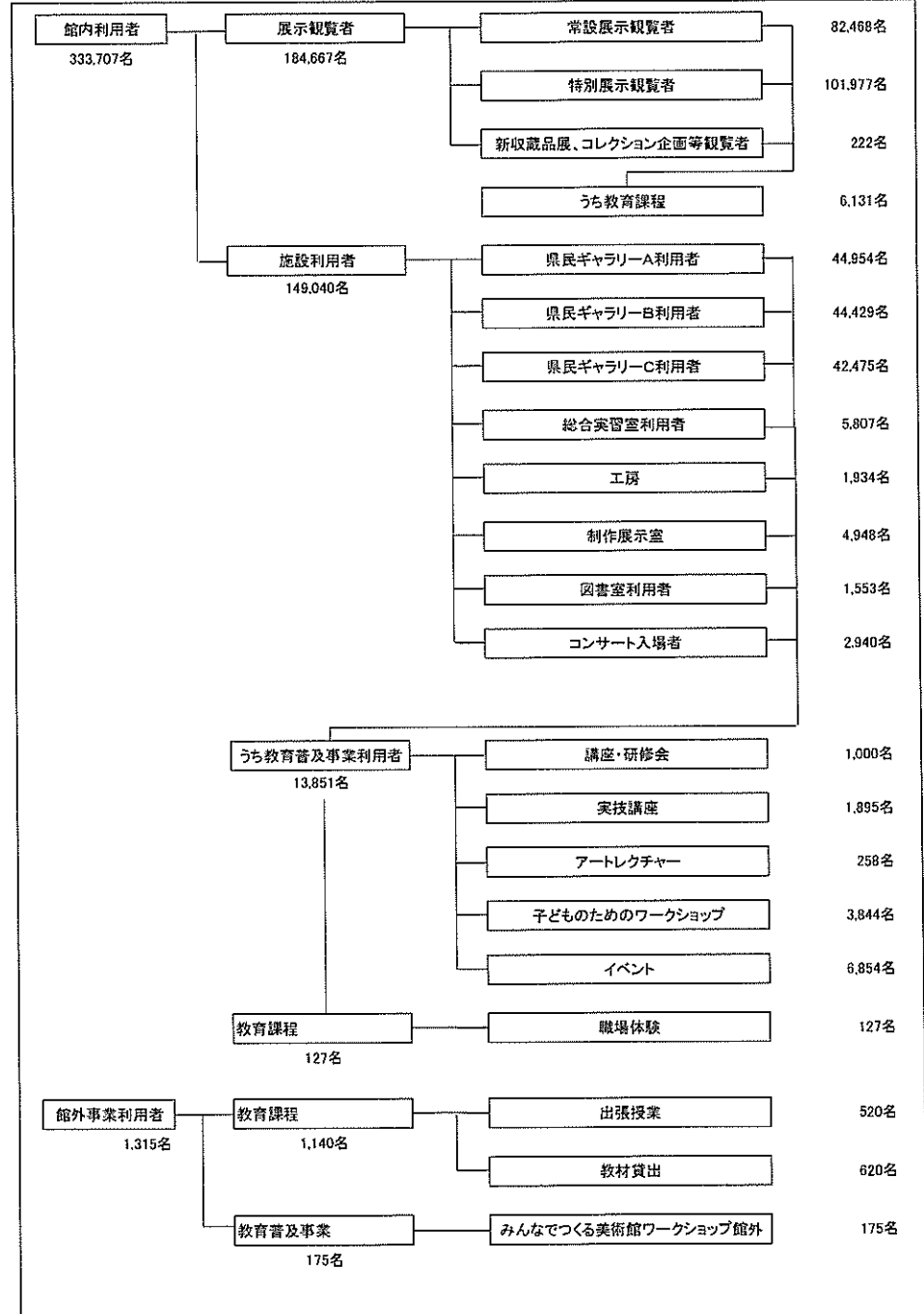
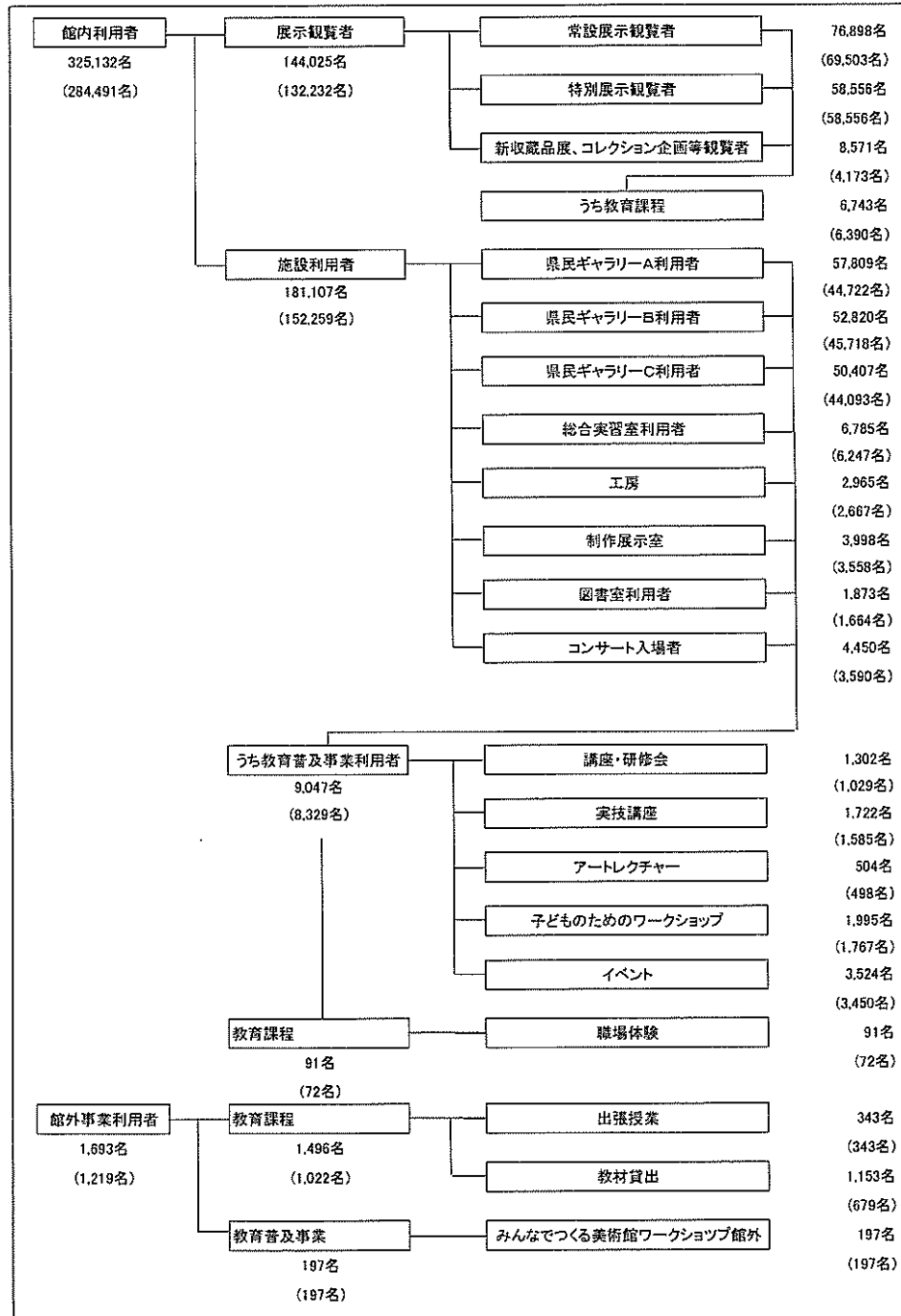
特別展・新収蔵品展等 (H29年度)

展覧会名	開催日数	観覧者数
H28新収蔵品展	2	542
バロックの巨匠たち	51	19,677
私の1枚展	46	11,642
ヴラマンク展	44	13,726
狩野芳崖展	40	13,511
コレクション企画展	55	8,029
	238	67,127

美術館における「利用者」の状況

平成30年度実績。( )は1月末現在

平成31年1月末現在



○美術館の利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

名称	佐野洋子の世界展	魔法の美術館展	追悼 深沢幸雄展	シャルル＝フランソワ・ドービニー 展	デザイン あ 展 in YAMANASHI	黄昏の絵画たち 近代絵画に描かれた 夕日・夕景 (仮称)	萩尾望都 SF 原画展 (仮称)	現代日本の工芸 国際交流基金寄託作品と 山梨の工芸 (仮称)
会期	2018年4月21日(土) ～6月17日(日)	6月30日(土) ～8月26日(日)	9月1日(土) ～10月8日(月・祝)	10月20日(土) ～12月16日(日)	2019年4月13日(土) ～6月9日(日)	6月22日(土) ～8月25日(日)	9月7日(土) ～11月4日(月・祝)	11月16日(土) ～2020年1月13日(日)
展示内容	出版40周年を迎えた佐野洋子作『100万回生きたねこ』は、世代を超えて読み継がれている大ロングセラーの絵本。佐野は、第二次世界大戦終戦後、山梨在住の叔父のもとに一家で身を寄せ、子供時代の3年ほどを過ごした。本展では同書を中心に、代表的な絵本やエッセイの原画、版画作品を展示することで、絵本作家・エッセイスト佐野洋子のユニークで豊かな世界を紹介する。	見て、触って、遊んで、学べる体感型メディア・アートの展覧会。体を動かすことで音や光をダイナミックに操ることができる作品や、絵本の世界に迷い込んだような幻想的な作品など、鑑賞する人が積極的に関わることで初めて完成する作品を中心に展示する。光と影が織りなす魔法のアートの世界を、子どもから大人まで、誰でも直感的に楽しめる新しい形の展覧会となる。	2017年1月に死去した深沢幸雄は、1924(大正13)年に山梨県南巨摩郡増穂町(現・富士川町)に生まれ、長く日本を代表する銅版画家の一人として活躍した。本展は、深沢本人が残してきた詩(言葉)を核とし、深沢芸術の検証を試みる。銅版画の代表作を中心に、ノートやスケッチブックなどの資料もあわせて紹介することで、多くの人に愛される深沢芸術の魅力に、深く迫る機会となる。	ドービニー(1817-1878)は画業の早い時期から戸外での制作をおこない、自然が見せる美しさを主題として制作し続け、カラーと共に同時代から高い評価を確立した。その後も新たな表現を探究し、より大胆で瑞々しい画風を展開し、印象派の先駆者として位置づけられている。開館40周年、また画家の没後140年を記念する本展は、ドービニーの画業に焦点をあてる国内初の展覧会となる。	こどもたちのデザイン的思考を育むことをねらいにNHK Eテレで放送されている番組「デザインあ」のコンセプトを、実際の体験に発展させる。身のまわりに意識を向け(みる)、どのような問題があるかを探り出し(考える)、よりよい状況を生み出す(つくる)という一連の思考力と感性、すなわち「デザインマインド」を多彩な作品を通して体験してもらう。	「夕日・夕景」のモチーフに着目し、東西両洋の画家たちの表現を照会する。独特の光の移ろいや、情緒あるこの時刻の表情は、多くの画家たちの心を捉え続けてきた。19世紀から20世紀にかけての西洋と、その影響を受けながら独自の風景表現を生み出そうとした近代日本を中心に、多様な表現を紹介する。	「少女漫画の神様」とも称され、『ポーの一族』『11人がいる』『スター・レッド』などの傑作を生んだ萩尾望都。本展では、デビュー50周年を記念し、SF作品から選出したカラーイラスト原画や漫画原稿を展示します。当館としては初の漫画展となり、漫画を芸術の一分野として捉え直す新たな試みとなる。	国際交流基金所蔵の工芸作品は、10年近くかけて世界各国で展示された後、2016年度に当館へ寄託された。本展では人間国宝6人を含む、現代日本を代表する工芸家の作品60点余りを展示する。またその合わせて山梨ゆかりの工芸家の作品も紹介する。
画像	100万回生きたねこ 				デザイン <b>あ</b> 展 		HAGIO MOTO SF 萩尾望都SF原画展 	
キャプション	『100万回生きたねこ』表紙	坪倉輝明《七色小道》	《ブルネット・ラディーニ/ダンテ『神曲』(地獄篇)より》1956年 山梨県立美術館蔵	《オワーズ河畔》1862年 ランス美術館蔵		ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロエ《舟渡し、ドゥエ近郊》島根県立美術館蔵		松田百合子《注器、デミタス碗皿》1992年 国際交流基金蔵

教育課程における入館者の状況 平成30年4月1日～8月31日

来館日 月 日	地域	校種	学年	対応	学校・団体	児童 生徒数	引率数	内容				解説	減免	備考 (学習形態、 体験内容など)		
								レク 演説	特別	職場	実技					
4 3	甲府	小	3	○	貫川小	0	3								打合せ	
4 3	県外	他			成城大学文芸部1班	195	14	○							○ 自主	
4 4	甲府	小	3	○	舞鶴小	0	3								打合せ	
4 4	甲府	小	2	○	石田小	0	3								打合せ	
4 4	甲府	小	1	○	池田小	0	4								打合せ	
4 5	県外	他			成城大学文芸部2班	181	27	○							○ 自主	
4 6	南都	他			都留文科大学国文学科	132	3	○							○ 自主	
4 6	県外	他			日本文化大学	271	25	○							○ 自主	
4 12	中巨	中	2	○	早川中	10	4	○							○ 解説	
4 13	甲府	他			山梨県立大学	79	8	○							○ 自主	
4 14	南巨	中	2	○	身延中	0	4	○							下見	
4 14	県外	他			多摩美術大学	49	4	○							自主	
4 19	県外	他			千葉工業大学	0	4	○							下見	
4 21	南都	中	2	○	東桂中	0	5	○	○						下見	
4 25	県外	他			昭和学院短期大学	168	18	○							○ 自主	
4 26	東八	中	2	○	六郷中	26	5	○	○						○ 解説	
4 26	東八	中	2		市川中学校	45	0	○	○						○ 自主	
5 8	北巨	中	2	○	明野中学校	4	0	○	○						解説	
5 8	南巨	中	2	○	身延中学校	40	2	○	○						○ 解説・自主	
5 8	北巨	中			長坂中学校	0	1	○	○						下見	
5 9	北巨	中	2	○	藤崎東中学校	55	3	○	○						○ 解説・自主	
5 9	北都	中	2		小菅中学校	3	1	○	○						○ 自主	
5 11	甲府	小	2	○	石田小学校	37	6	○	○						○ 解説・創作	
5 11	北巨	中	2		高根中学校	19	0	○	○						○ 自主	
5 16	北都	中	2	○	秋山中学校	11	3	○	○						○ 解説・自主	
5 17	甲府	小	1-2	○	新田1・2年生	38	5	○	○						○ 解説・創作	
5 17	甲府	中	2	○	押原中学校	44	2	○	○						○ DVD・自主	
5 17	中巨	中	2		玉穂中学校	3	0	○	○						○ 自主	
5 18	甲府	小	1	○	池田小学校	69	6	○	○						○ 解説・創作	
5 19	甲府	高			駿台高等学校美術部	83	7	○	○						○ 自主	
5 22	北都	中	2	○	東桂中学校	70	7	○	○	○					○ 解説・バックヤード	
5 22	中巨	中	2	○	芦安中学校	1	0	○	○						○ 解説	
5 23	甲府	小	3	○	貫川小学校	54	4	○	○						○ 解説	
5 23	北巨	中	2	○	長坂中学校	10	1	○	○	○					○ 解説・バックヤード	
5 25	北巨	中	2	○	武川中学校	21	4	○	○						○ 解説	
5 29	甲府	小	3	○	新田小3年生	14	4	○	○						○ 解説・創作	
6 6	県外	高	1	○	女子美術大学附属高等学校	120	10	○	○						○ 学委員による解説	
6 8	甲府	小	3	○	舞鶴小	45	5	○	○						○ 解説・創作	
6 13	北都	中	2		大月中学校	17	0								○ 自主	
6 14	甲府	小	6	○	新田小6年生	27	2	○							○ ギャラリートーク準備模写	
6 15	甲府	小	4	○	新田小4年	26	2	○	○						○ 解説・創作	
6 16	中巨	中			八田中美術部	20	4	○							○ 創作	
6 16	中巨	中			押原中美術部	18	2	○							○ 創作	
6 19	中巨	他			あけぼの医療福祉センター	3	4								○ 創作	
6 20	甲府	小	5	○	新田小	25	2	○							○ ミニ道徳	
7 1	甲府	小			かえで支援学校	0	2	○							○ 下見	
7 1	甲府	小			甲府支援学校	0	1	○							○ 下見	
7 3	甲府	小			甲府支援学校	7	14	○							○ 自主見学	
7 3	南巨	小			わかば支援学校富士川分校	4	3	○							○ 特別展	
7 5	甲府	高			かえで支援学校	12	7	○	○						○ 解説・自主	

来館日 月 日	地域	校種	学年	対応	学校・団体	児童 生徒数	引率数	内容				解説	減免	備考 (学習形態、 体験内容など)		
								レク 演説	特別	職場	実技					
7 6	中巨	他			竜王西児童館	-	0	2								下見
7 10	甲府	他			しらゆり保育園	15	5								○	解説・自主
7 11	甲府	他			しらゆり保育園	19	4								○	解説・自主
7 12	中巨	他			竜王西保育園	60	6								○	スクプロ
7 12	甲府	他			仲芽保育園	17	4								○	スクプロ
7 14	南都	高			甲斐清和高校	51	2	○	○						○	コレクション
7 15	中巨	高			白根高校	7	0								○	職場体験
7 19	甲府	小			池田小学校	82	4	○	○						○	スクプロ
7 20	甲府	他			常永保育園	22	3	○	○						○	スクプロ
7 20	南都	中			下吉田中学校	13	1	○	○						○	自主
7 24	中巨	中			八田中美術部	20	4	○	○						○	自主
7 25	中巨	中			深葉中学校	26	1	○	○							○ 自主
7 26	甲府	他			かおり幼稚園	80	19								○	自主
7 26	北巨	中			藤崎東中学校	24	1	○	○							○ 自主
7 26	北都	中			孫橋中学校	11	2	○	○							○ 自主
7 27	中巨	他			竜王西児童館	29	3	○	○						○	スクプロ
7 31	甲府	他			貫川進徳幼稚園	13	3								○	自主
8 1	県外	他			女子美術附属高・中学校	44	3	○	○						○	自主
8 1	甲府	他			貫川進徳幼稚園	18	3	○	○						○	自主
8 2	甲府	他			貫川進徳幼稚園	27	3	○	○						○	自主
8 2	甲府	他			児童発達支援センターひまわり	7	7								○	自主
8 2	甲府	他			つつじが崎学園	11	6									○ 自主
8 3	南都	他			都留市東桂保育園	20	3									○ 自主
8 5	県外	他			広尾中学校高等学校	13	1	○	○						○	自主
8 7	甲府	他			つつじが崎学園	17	6									○ 自主
8 7	県外	他			おとぎクラブ学童保育	46	4									○ 自主
8 7	中巨	他			竜王西児童館	32	3								○	スクプロ
8 9	甲府	他			こでまり放課後クラブ	17	2									○ 自主
8 9	中巨	他			竜王北児童館	29	3									○ 自主
8 10	県外	他			文教大学教育学部園芸専修	59	7									○ 自主
8 18	県外	他			跡見学園中学高等学校	32	2	○	○							○ 自主
8 21	県外	他			コウカ学園中高	12	2	○	○							○ 自主
8 22	甲府	他			宮前保育園	27	3								○	自主
8 22	甲府	他			甲府西幼稚園放課後児童クラブ	39	3									○ 自主
8 21	甲府	他			つつじが崎学園	28	3									○ 自主
9 11	県外	他			東京家政大学服飾美術学科	166	31	○	○							○ 自主
9 12	県外	他			学習院大学フランス語園文化学科	32	3	○	○						○	スクプロ
9 15	甲府	高			駿台甲府高校	73	8	○	○							○ 自主
9 19	東山	高			塩山高等学校1年	126	12	○	○						○	スクプロ
9 21	甲府	他			風土記の丘自由学校	5	2	○	○						○	スクプロ・創作
9 23	県外	高			藤枝順心高校	41	7	○	○							○ 自主
9 23	県外	高			敬和学園高等学校合唱部(1~3年)	30	3	○	○							○ 自主
9 28	県外	小	5		東京都荒川区日暮小学校5年生	62	5	○	○							○ 自主
10 5	甲府	小	5		常永小学校	89	5	○	○						○	スクプロ
10 11	甲府	小	4		池田小	82	6	○	○						○	スクプロ
10 12	甲府	高	1		甲府城西高校	139	9	○	○						○	スクプロ自主
10 17	中巨	他			立正光生園保育所	11	3	○	○						○	スクプロ創作
10 19	県外	高			女子学院高等学校	192	10	○	○							○ 自主
10 24	中巨	高			あけぼの支援高校	5	5	○	○						○	自主
10 26	その他	高			高文連茶道専門部	600	100	○	○						○	自主
10 30	県外	他			女子美術大学	11	5	○	○						○	自主

未館日 月 日	地域	校種	学年	対応	学校・団体	児童 生徒数	引率数	内容			解説	減免	備考 (学習形態、 体験内容など)	
								エレ キート	特別	職場 実技				
11	1	中巨	小	6	○	双葉西小	46	3	○	○			○	解説+創作
11	2	甲府	小		○	富士見支援	2	2	○	○			○	解説+創作
11	6	甲府	小		○	ニューライフ	17	5	○	○			○	解説+創作
11	8	甲府	高	3	○	甲斐清和普通科	42	2	○	○			○	解説
11	9	甲府	高	1	○	甲斐清和通儀	50	2	○	○			○	解説
11	14	その他	高			芸術祭展示部門	190	38	○	○				自主
11	15	甲府	小	3		新田小	14	2	○	○			○	解説+創作
11	21	その他	高			高美進	10	5	○	○			○	自主
11	21	北巨	小	5	○	白州	21	3	○	○			○	解説+創作
11	22	甲府	小	4	○	新田小	26	2	○	○			○	解説+創作
11	27	甲府	小	4	○	山梨学院小	70	4	○	○			○	解説
11	28	甲府	小	5	○	新田小	25	2	○	○			○	解説+創作
11	30	甲府	小	6	○	池田小	88	6	○	○			○	解説
12	12	甲府	小	1-2	○	新田小	38	5	○	○			○	解説+創作
12	12	甲府	小	6	○	新田小	27	2					○	GT練習
12	18	甲府	高	3	○	附属支援高	8	5	○				○	解説+創作
12	21	甲府	小	3	○	池田小	87	6	○	○			○	解説
1	10	甲府	小	6	○	新田小	27	3					○	GT練習
1	11	甲府	小	5	○	千塚小	55	4	○	○			○	解説+創作
1	17	その他	中			吉林省第二実験中学校(中国)	36	6	○					自主
1	26	その他	小	全	○	作文教室トトロ	40	1	○				○	アートカード
1	29	甲府	小	456	○	新田小	78	8	○				○	GT練習
1	30	甲府	小	6	○	新田小	35	5	○				○	GT本番

### 教育課程における入館者数

◎平成29年4月1日～平成30年3月31日

	校数	生徒数
小学校	47	1,506
中学校	71	911
高校	27	1,400
その他	12	427
計	157	4,244

◎平成30年4月1日～平成31年1月31日

	校数	生徒数
小学校	38	1,357
中学校	27	547
高校	18	1,779
その他	36	2,036
計	119	5,719

# くろで2色のえをかこう

印刷機で2つの黒い絵を黒と赤に変換し、合わせて印刷します。  
印刷されたものが出てくる時はとってもドキドキしますよ。

**日 時：5月19日（土）**  
①午前 10:00～11:30  
②午後 1:30～3:00

※開始 10 分前までにお集まりください※

- 🐾 **会 場：**ワークショップ室・特別展示室
- 🐾 **対 象：**小学生（1～3年生は保護者同伴）
- 🐾 **定 員：**保護者を含めて各回 20 名
- 🐾 **申込期間：**4月19日（木）～5月17日（木）



©FPOCHO, Inc./KODANSHA

### 申し込み方法：電話またはAXでお申し込みください

希望時間・参加者全員の氏名（ふりがな）・学年・電話番号（FAXがある方はFAX番号）をお知らせください。（申し込まれた方の個人情報は、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。）

問い合わせ・申し込み先 山梨県立美術館「こども美術館」係  
Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324



～ 特別展を中心とした、小・中学生が楽しめる内容のプログラムです ～

プログラム名	開催日時	イベント内容（☐は特別展名）	対象	申込期間
こども美術館① 「くろで2色のえをかこう」	5月19日（土） ①午前 10:00～11:30 ②午後 1:30～3:00	一足されて40年— 100万回生きたねこ 佐野洋子の世界展  印刷機で2つの黒い絵を黒と赤に変換し、合わせて印刷します。印刷されたものが出てくる時はとってもドキドキしますよ。	小学生 （小学1～3年生は保護者同伴）	4月19日 5月17日
こども美術館② 「ウゴケ！コマ！」	7月15日（日） ①午前 10:00～12:00 ②午後 1:30～3:30	魔法の美術館 光と遊ぶ、真夏のワンダーランド  ブロックやタブレットを使って、自分だけのコマ撮りアニメーションを作りましょう。	小学生～中学生 （小学1～3年生は保護者同伴）	6月12日 7月8日
こども美術館③ 「凹凸（ポコポコ）版面を楽しもう！」	9月29日（土） ①午前 10:00～11:30 ②午後 1:30～3:00	銅版画の達人 追悼 深沢幸雄展  深沢幸雄の作品を鑑賞し、好きな物語をもとに凹版で作品を作りましょう。	小学生 （小学1～3年生は保護者同伴）	8月28日 9月23日
こども美術館④ 「果まれ！『キラキラ』探検隊！！」	11月11日（日） ①午前 10:00～11:30 ②午後 1:30～3:00	シャルル＝フランソワ・ドービニー バルビゾン派から印象派への架け橋  光はどんな姿をしているのでしょうか。あなたならどんな風に表現しますか。芸術の森公園と展示室をめぐる、いろんな「キラキラ」を見つけてみよう！（雨天決行）	小学生～中学生 （小学1～3年生は保護者同伴）	10月10日 11月4日

プログラムの内容・日程は予告なく変更になることがあります。詳細は最新の館内チラシでご確認ください。

\*各プログラムは申し込みが必要です。対象学年をご確認の上、お申し込みください\*

### 申し込み方法：電話またはFAXでお申し込みください。

①希望コース名②参加者全員の氏名（ふりがな）③学年④電話番号（FAXがある方はFAX番号）をお知らせください。  
（申し込まれた方の個人情報は、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。）

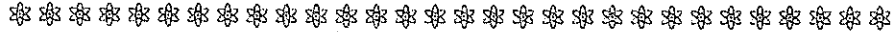
問い合わせ・申し込み先：山梨県立美術館「キッズ・プログラム」係  
Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324  
（電話受付時間：開館日9：00～17：00）





＜平成30年度の予定＞

協力：山梨学院短期大学保育科



つくろう！あそぼう！ **造形広場**

**5月5日・6月2日・7月7日・8月4日**  
**9月8日・10月13日・11月10日・12月15日**  
**1月5日・2月9日・3月2日**      すべて土曜日に開催

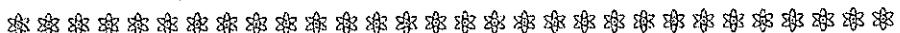
場所：ワークショップ室  
 時間：午後1：30～3：30  
 対象：小学生以下とその保護者  
 定員：先着100名程度（申込不要）

※開始時刻の10分前にはお集まりください※

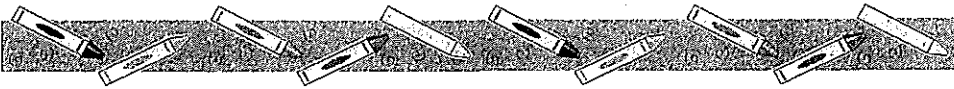
**創作教室**

**12月22日（土）・3月23日（土）**

場所：ワークショップ室  
 時間：午後1：30～3：30（予定）  
 対象：小学生以上（低学年が参加する場合は保護者同伴）  
 定員：各回定員は異なります（申込が必要）



\*日にち、内容、時間など直前の変更もあります。  
 各回の詳細はホームページまたは直前のチラシでご確認ください。  
 お問い合わせ  
 〒400-0065 山梨県甲府市買川1-4-27  
 山梨県立美術館 造形広場・創作教室係  
 TEL 055-228-3322



平成30年度

**山梨県立美術館 美術体験・実技講座**

様々な美術表現を体験しながら、生涯の楽しみや美術作品の鑑賞の糸口を見つけてみませんか。初めて挑戦される方のための初心者コース、技術を深めてみたい方には実技講座を開設します。また、もう少し気軽に創る喜びに接していただけるよう、障がいをお持ちの方、幼児など、どなたでも参加できる「わかば講座」（旧、障がい者のための講座）も設けましたので、ご利用ください。その他、制作場所や、版画プレス機などを提供するオープンアトリエ（別表）もご利用ください。

No.	講座名/講師	内容・期間(日時)	申込期間
1	木版画 初心者コース 美術館職員	木版画に触れる初心者のための講座です。単色木版画を制作します。この初心者コース受講者でNo.3の〔木版画〕講座へ進まれる方はこの日にお申し込みください。 講座日：4月22日（日） 午前10:00～午後3:30 材料費約800円	3月30日～4月6日
2	フレスコ画 作家：宮永泰雄	フレスコ画の歴史と技法を学び、小品を制作します。2日間参加できる方を対象とします。 作家指導日：4月29日（日）・30日（月・振休） 午前10:00～午後4:00 材料費約1,000円	3月30日～4月6日
3	木版画 作家：河内成幸	本格的な多色木版画に挑戦します。作家指導日4回参加できる方を対象とします。（初心者は初心者コース受講者のみ対象です。） 作家指導日：5月12日（土）・13日（日）・26日（土）・27日（日） 午前10:00～午後4:00 ※5月15日（火）～25日（金）は工房にて自主制作可 *材料購入希望者は4月22日（日）午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	4月5日～11日
4	わかば講座 （旧、障がい者のための講座） 色や形を楽しもう！ 作家：高橋辰雄	大〔みなび（みんなでつくる美術館）のワークショップの1つです。障がいをお持ちの方、幼児、大人、あらゆる方に創ることの楽しみを味わっていただきたいと思っております。どなたでも参加できます。 講座日：7月11日（水）①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00 上記の①②から希望の時間をお選びください。 *保育園、幼稚園、特別支援学校、学校など団体でも参加できます。*基本的に申し込みの必要はありませんが特別に配慮の必要な障がいをお持ちの方や、施設、園、学校など団体で参加される場合は事前に参加人数をご連絡ください。	団体参加の場合のみ事前にお申し込みください。
5	スクリーン・プリント 初心者コース 美術館職員	孔版（スクリーン・プリント/シルクスクリーン）を理解する初心者のための講座です。この初心者コース受講者でNo.6の〔スクリーン・プリント〕講座へ進まれる方はこの日にお申し込みください。 講座日：9月2日（日） 午前10:00～午後3:30 材料費約800円	8月9日～16日
6	スクリーン・プリント 作家：天野純治	スクリーン・プリント（シルクスクリーン）で自分なりの作品を創ってみませんか。作家指導日4回参加できる方を対象とします。（初心者は初心者コース受講者のみ対象です。） 作家指導日：9月16日（日）・23日（日）・24日（月・振休）・30日（日） 午前10:00～午後4:00 ※9月17日（月・祝）～29日（土）は工房にて自主制作可 *材料購入希望者は9月2日（日）午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	8月9日～16日
7	日本画 作家：目黒祥元	日本画はどのような材料を使って描くのでしょうか。初心者には初日に材料など詳しく説明します。経験者は自由創作を中心に行います。 作家指導日：10月28日（日）・11月17日（土）・18日（日）・24日（土）・25日（日） 午前10:00～午後4:00 ※11月20日（火）～23日（金・祝）は工房にて自主制作可 *材料購入希望者は10月28日（日）午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	10月4日～11日
8	油彩画 作家：古屋良昭	作家の制作に対する考え方がいながら、技法の指導を受け制作します。作家指導日4回参加できる方を対象とします。 作家指導日：1月13日（日）・20日（日）・27日（日）・2月3日（日） 午前10:00～午後4:00 ※1月14日（月・祝）～2月2日（土）は工房にて自主制作可	12月13日～20日
9	現代美術 作家：長谷川 創	ポップアートを意識して、アルミ缶を素材に身近な日用品を表現してみましょう。金属板を手作業で加工し造形物を作ります。作家指導日2回参加できる方を対象とします。 作家指導日：2月24日（日）・3月3日（日） 午前10:00～午後4:00 ※2月26日（火）～3月1日（金）は工房にて自主制作可	11月25日～12月2日

**オープンアトリエ**

実技講座で学んだことを生かして引き続き制作したい方や、版画、油彩、日本画などを専門的に制作している方に制作の場を提供します。

★オープンアトリエは一度申し込みいただければ、通年でご参加いただけます。

★作家による指導はありませんが、版画制作者へは指導員が初心者の相談にのります。版画制作者はインク、薬品等の共用品代が必要になります。別途お知らせします。

講座名	期間(日時)	申込期間
オープン・アトリエ①	4月1日(日)~4月28日(土) 午前9:00~午後4:30 4月22日(日)は除く	3月23日~4月10日
オープン・アトリエ②	5月29日(火)~6月29日(金) 午前9:00~午後4:30 6月2日(土)は除く	5月20日~27日
オープン・アトリエ③	8月28日(火)~9月14日(金) 午前9:00~午後4:30 9月2日(日)、8日(土)は除く	8月19日~26日
オープン・アトリエ④	10月2日(火)~10月27日(土) 午前9:00~午後4:30 10月13日(土)は除く	9月23日~30日
オープン・アトリエ⑤	2月5日(火)~2月23日(土) 午前9:00~午後4:30 2月9日(土)は除く	1月27日~2月3日

**注意事項**

- ★対象は中学生以上(除くNo.4)、定員は約20名。初めて講座を受けられる方が優先です。初めての方が多数の場合は、申込期間内に受け付けた方から抽選させていただきます。
- ★受講料は無料です。ただし、別途材料費を必要とする講座もあります。
- ★必要な用具・材料は通知(返信ががき)をご覧になり、各自ご用意ください。初心者コースは、美術館で材料を準備します。
- ★講座終了日には大掃除がありますのでご協力ください。
- ★自主制作可能日やオープンアトリエ中、美術館のイベント等で工房が使用できない日が発生した場合は、事前にお知らせいたしますのでご協力願います。

**申し込み方法**

往復はがきで申し込み期間内に(消印有効)お申し込みください。  
 往信面に ①講座名 ②〒・住所 ③氏名・年齢(学生の場合は学校名・学年)  
 ④電話番号(FAX番号も) ⑤経歴の有無を記入してください。  
 返信面には申込者の〒・住所・氏名を必ず記入してください。  
 ※申し込まれた方の個人情報、本事業のみを目的とし、当館で適切に管理します。

**申し込み先**

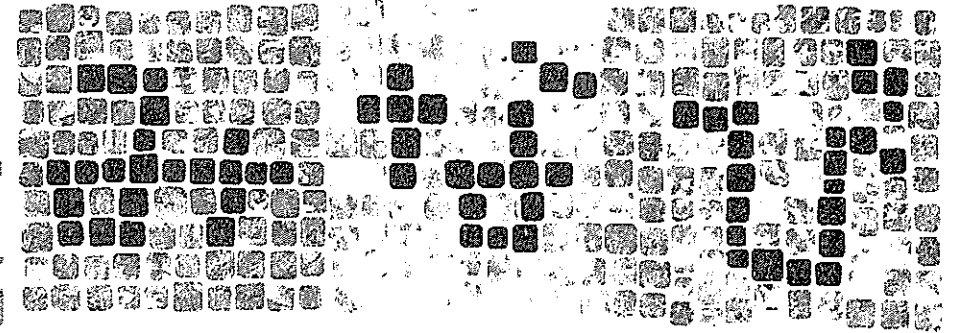
山梨県立美術館「美術体験・実技講座」係  
 〒400-0065 甲府市賈川1-4-27  
 TEL 055-228-3322(代表) Fax 055-228-3418(学芸課直通)

**みなび**

みんなで作る  
 びじゅつがた

**「しっばい」は「せいこう」のもと**

～アイデアいっぱい夢いっぱい～

**みんなで作る美術館**

「みんなで作る美術館(みなび)」は、大人も子ども、障がいをお持ちの方もどなたでも参加できる参加型展覧会です。  
 ワークショップに参加したり、展覧会を見にきたり、ボランティアとして働いたりしてみませんか。  
 展覧会中は毎日ミニワークショップも開催します。

**みなびワークショップ**

どなたでも楽しく参加できるワークショップ  
 を8回開催します。  
 詳しくは裏面をご覧下さい。  
 また、ワークショップで制作した作品の一部  
 を『みなび展』で展示します。

**みなび展**

会期:平成30年7月25日(水)~8月3日(金)  
 午前9時~午後5時(最終日は午後3時まで)  
 場所:山梨県立美術館 県民ギャラリーC、他  
 毎日ミニワークショップを開催

**ボランティアスタッフ募集中**

問合せ先:みなび実行委員会(山梨県立美術館内)

- ◎主催 みんなで作る美術館実行委員会・山梨県立美術館
- ◎後援 山梨県教育委員会 山梨県社会福祉協議会 山梨県教育委員会 山梨県商工観光振興会 山梨県芸術文化振興会 山梨県青年会議所 山梨県教育委員会 山梨県青年会議所 山梨県商工観光振興会 山梨県教育委員会 山梨県青年会議所 山梨県青年会議所 山梨県青年会議所
- ◎協力 山梨県美術館 (協)アイズレイ展覧館 (特)画廊プロセス 第二斎 べん堂 山梨県商工観光振興会 (協)大田 人かっアートワーク 山梨学院大学 山梨県立大学 山梨県立大学

種をまく 世界がひらく

**山梨県立美術館**

Yamanashi Prefectural Museum of Art  
 みんなで作る美術館(みなび)実行委員会事務局  
 〒400-0065 甲府市賈川1-4-27 山梨県立美術館 学芸部内  
 TEL 055-228-3250 Fax 055-228-3418  
 http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/





# みなびワークショップ 「いっばい」は「せいこう」のもと ～アイデアいっばい 夢いっばい～

申込不要  
参加無料

① 7月11日(水) ①午前 10:00~11:30  
②午後 1:30~3:00

**「仮面で変身！」**

会場：県立美術館 ワークショップ室  
講師：高橋辰雄氏 (作家)

箱をつかって、ちょっと変なものをつくろう！  
空き箱があったら持ってきてね。

※県立美術館わが校型型 旧蔵がいのための活動」といっしょです。

② 7月14日(土) 午後 1:30~3:30

**「色と踊って世界をつくろう」**

会場：河口湖美術館 芝生広場  
講師：鈴木つな氏 (ダンサー)

大きな紙や長い紙とあそび、体をつかって色をつけます。

※手や足に塗る具をつけるので汚れてもよい服装でお越し下さい。  
※野外での活動もありますので虫よけ、暑さ対策をしてお越し下さい。

③ 7月22日(日)・24日(火)  
午後 1:30~3:30 2回連続で開催。

**「みんなでたまご」**

会場：県立美術館 県民ギャラリーC  
講師：渡辺弥生氏 (美術教室代表)

対象：なるべく2日間参加できる方  
風船ぐらゐの大きな卵をつくります。  
時間がかかって大仕事！  
さて中にひそんでいるものはいったい何？

④ 7月25日(水)  
午後 1:30~3:30

**「壁をのぼる生き物」**

会場：県立美術館 ワークショップ室  
講師：県立美術館職員、他

県民ギャラリーの壁をつかって、たのしい展示をつくりましょう。

⑤ 7月27日(金)  
午後 1:30~3:30

**「ねばねばつなげて  
広げよう！」**

会場：県立美術館 ワークショップ室、  
芸術の森公園  
講師：田中静雄氏 (専攻教員代表)

白い納豆のフタを森の中につなげていきます。どんな音がきこえるかな？  
どんな世界が広がるかな？

※たくさん納豆のフタを働きますので虫よけ  
持ってきて下さい。  
※野外での活動になりますので虫よけ、暑さ対策を  
してお越し下さい。

⑥ 7月29日(日) 午後 1:30~3:30

**「大人の造形広場『Bigバルーン』**

会場：県立美術館 ワークショップ室  
講師：伊藤美輝氏 (山梨学院短期大学教授)

大人もおどろきや、子どももおどろく。  
Bigバルーンをつくろう！とばそう！

※野外での活動もありますので虫よけ、暑さ対策を  
してお越し下さい。

⑦ 8月1日(水)  
午後 1:30~3:30

**「どろだんごで種づくり」**

会場：県立美術館 ワークショップ室、  
ミュージアムコート  
講師：石田雅道氏 (甲府第一高校教員・作家) とその生徒

土をこねて不思議な種をつくろう！ホンモノの種を  
うめこんで、水をかけてあげると芽がでてくるかも。

※野外での活動になりますので虫よけ、暑さ対策を  
してお越し下さい。

⑧ 8月2日(木)  
午後 1:30~3:30

**「Let's ダンス! 腹のムシ」**

会場：県立美術館 講堂  
講師：鈴木つな氏 (ダンサー)

顔で笑って、心で泣いて、なんだかつぶ  
やく腹のムシ。すべて忘れて、たのしもう！

★団体で参加される場合は、予め事務局 (Tel.055-228-3258) へご連絡ください。

★汚れてもよい服装、暑さ対策の準備をお願いします。

★ワークショップの内容は変更になる場合があります。最新情報は県立美術館ホームページをご覧ください。

★開始時間 10分前までに来て下さい。各回定員は先着 100名程度です。

★駐車場が十分に確保できないため、お車の場合は乗り合わせてお越し下さい。

**みなび展** 7月25日(水)~8月3日(金) 7月30日(月)は休館 **入場無料**

県立美術館 県民ギャラリーC、他 午前9:00~午後5:00 (最終日は午後3:00まで)

■上記のワークショップの作品や、ワークショップの様子(ビデオや写真)を展示しています。また、近隣の小学生が描いた《顔人》などの作品展示もしています。

■みなび展会期中は毎日ミニワークショップを行います。お楽しみに！

■作品返却は会期中常時行いますので、ご要望の方は係員までお申し付けください。取りにこられない方は、後日、美術館へお越し下さい。作品は9月中旬まで保管しています。

## 2019年度 教育普及事業の主な予定

4月	オープンアトリエ 映画会	
5月	造形広場 教師のための鑑賞研究会	
6月	造形広場 映画会 実技講座銅版画(初心者) 実技講座銅版画(経験者) オープンアトリエ	
7月	造形広場 映画会 オープンアトリエ	みなびWS みなび展 職場体験・インターンシップ
8月	造形広場 教師のための鑑賞研究会 映画会 オープンアトリエ	みなびWS みなび展 職場体験・インターンシップ
9月	造形広場 教師のための鑑賞研究会 映画会 実技講座リトグラフ(初心者) 実技講座リトグラフ(経験者)	
10月	造形広場 オープンアトリエ 映画会	
11月	造形広場 教師のための鑑賞研究会 実技講座テンペラ(初心者・経験者) 実技講座日本画(初心者・経験者) 映画会	
12月	造形広場 実技講座日本画(初心者・経験者) 映画会	
1月	造形広場 実技講座油彩画(初心者・経験者) 映画会	
2月	造形広場 オープンアトリエ 映画会	
3月	造形広場 オープンアトリエ 映画会	

# 平成30年度 下半期美術館協議会

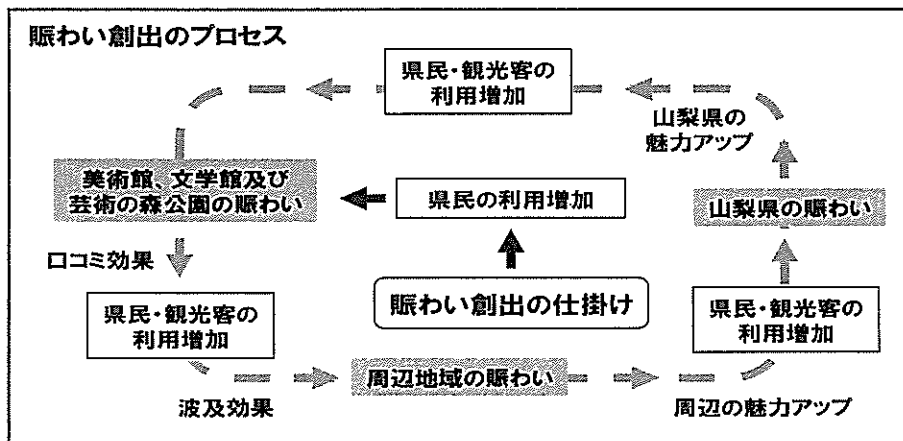
山梨県立美術館指定管理者  
株式会社SPSやまなし

## 目次

1. 2期目の指定管理期間における目指す姿
2. 賑わいの創出
  - ・ 展覧会観覧誘致のための広報活動
  - ・ 露出度アップのための広報戦略
  - ・ 広報イベントの開催
3. ホスピタリティデザインの構築
  - ・ 両館合同防災訓練
4. 施設の維持管理
5. 指定管理第3期の運営方針

### 美術館、文学館及び芸術の森公園が目指す姿

- 県民が日常的に活用する施設であり、県民の誇りでもある施設
- 県内の賑わいを創出する旗艦として機能する施設



### 指定管理者活動トピックス

#### 【2-1】展覧会観覧誘致のための広報活動

特別展「銅版画の詩人 追悼 深沢幸雄展」  
2018年9月1日(土)～10月8日(月・祝)

TV・新聞への広告に加え、リリース配信により「月刊美術」の掲載枠等を獲得。美術系雑誌へも広告掲載することができた。本展覧会では深沢幸雄の残した詩やスケッチブックを「iPad」で見せる展示があり、若い年齢層が関心を寄せている様子が伺えた。



<観覧者実績> 5,898名 (予比58.5%)

## 指定管理者活動トピックス

### 【2-2】 展覧会観覧誘致のための広報活動

特別展「シャルル＝フランソワ・ドービニー展」  
2018年10月20日(土)～12月16日(日)

新聞(全国紙)、WEB広告の実施等による首都圏への広報、また、JR東海、東京メトロ等の交通系広告も用いて県外広報を強化した。結果、県外比率が40%と高い効果を出している。(参考)昨年同時期開催・狩野芳彦展 県外比率21%  
また、日曜美術館アートシーンの放映枠も獲得している。(11/11)

10/27『読売新聞首都圏版』



乃木坂駅

<観覧者実績> 19,370名 (予比61%)

## 指定管理者活動トピックス

### 【2-3】 展覧会観覧誘致のための広報活動

《角笛を吹く牛飼い》お披露目式(9/10)  
40周年記念式典(10/19)

70点目のミレー収蔵品「角笛を吹く牛飼い」が後藤知事により発表された。各報道機関へ直接訪問をした結果、ほぼ全ての取材を獲得している。公開前後のコレクション展の1週間累計観覧者数を比較すると、1.86倍(公開前1,456人、公開後2,716人)と伸びており、反響の高さが伺えた。  
また、40周年記念式典は、ドービニー展オープニングと同日に開催。知事や大村智先生の出席のもと実施され、TV・新聞紙面を通じ報道された。



《角笛を吹く牛飼い》お披露目式



40周年記念式典

## 指定管理者活動トピックス

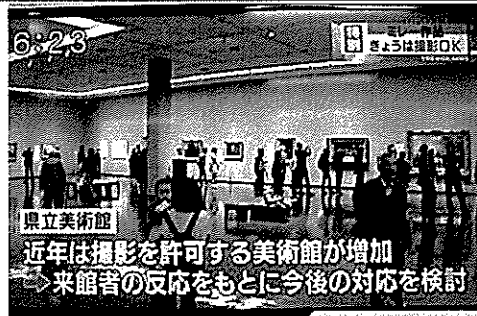
### 【2-4】 露出度アップのための広報戦略

『ミレー館』初の写真撮影について(11/20)

ミレー館で初めて写真撮影が可能になった。「県民の日1日限り」という話題性もあり、リリース配信先5社の取材を獲得している。監視業務においては通常と異なる対応が予想されるため学芸課との打ち合わせを事前に実施した。賛同も不賛同もどちらのご意見もいただき、お客様の生の声に触れる貴重な機会となった。(観覧者数:3,022名)



山日新聞 11/21掲載



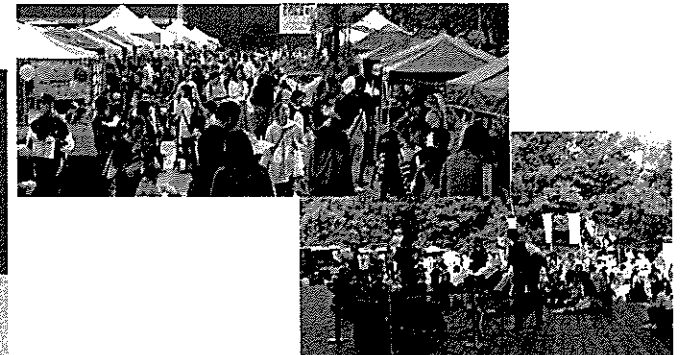
山梨放送11/20  
ワイドニュース

## 指定管理者活動トピックス

### 【2-5】 広報イベントの開催

『ミュゼ マルシェ』の実施(10/13,14)

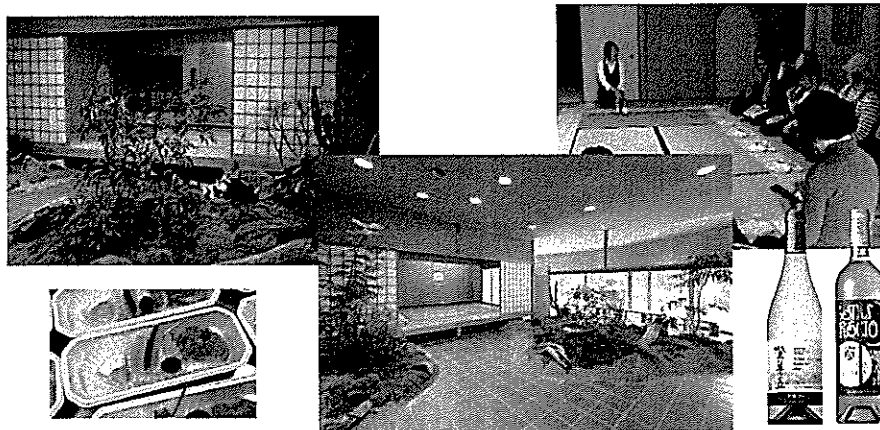
開催4回目のミュゼ・マルシェ。地元企業や山梨ゆかりの店舗(127店舗)の出店、また、県内で音楽活動を展開しているアーティストによる園内での演奏、美文両館の展示室を巡るクイズラリー等を実施し、2日間で13,200名の入場があった。



## 指定管理者活動トピックス 【2-6】広報イベントの開催

### ワイン茶会の実施(11/11)

美術館40周年記念事業として、茶室に山梨県出身のアーティスト天野慶さんによる造園技術を用いた空間が用意された。SPSやまなしにてワイン茶会を実施している。(参加者数:19名)



## 指定管理者活動トピックス 【2-7】広報イベントの開催

### 県民の日イベントの開催(11/20)

「県民の日」が平日であったことから、今年度もお子様とご家族をターゲットとした誘致を実施。美術館では「ミレーぬりえ」「野外彫刻探検ツアー」、文学館との連携事業として「芸術の森茶会」「スタンプラリー」を実施した。「ミレーぬり絵」は盛況で追加補充をしている。



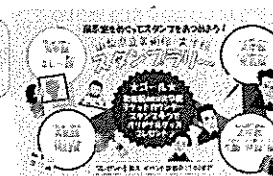
ミレーぬりえ  
647名



野外彫刻  
たんけんツアー  
61名

<イベント参加者>のべ11,777名  
<展覧会観覧者>  
●ミレー館 3,022名(目標比152%)  
●ドービーニー展 2,575名(目標比129%)

スタンプラリー  
1,913名



## 指定管理者活動トピックス 【3-1】ホスピタリティデザインの構築

### 両館合同防災訓練の実施(10/24)

地震が発生したことを想定し、今年度も美文県職員、指定管理者、協力会社合同での避難訓練を実施した。終了後はDVDを視聴し、AEDの操作方法と心肺蘇生について学習した。訓練後に、気になった点を担当者間で共有、操作マニュアルを用いて運用を再チェックするなど振り返りを行っている。



インバウンド対応の表示を掲げ、  
集合場所を知らせるスタッフ



放送機器の操作方法  
マニュアル



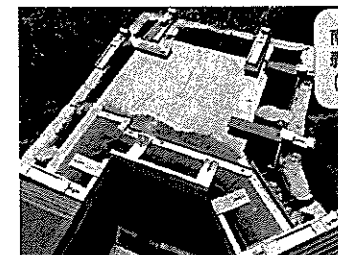
## 指定管理者活動トピックス 【4-1】施設の維持管理

### 台風24号による被害(10/1)

9/30日夜間に、非常に強い勢力(強風)で通過した台風24号は、倒木による近隣住宅の窓ガラス破損、南館屋根の一部破損、園内の倒木等をもたらした。住宅の窓ガラス修理と園内の倒木は即日対応。南館屋根の修繕は今後実施予定。



隣接する住宅のガラスに  
倒木があたる



南館屋根の一部が  
割れ落下  
(1.5m×1.3)



バラ園付近の倒木

## 指定管理者活動トピックス 【5】指定管理第3期の運営方針

### 指定管理第3期（4年間）の運営方針

- 施設の新たな魅力の発掘と発信  
観光資源としての魅力をアピール  
県民の文化芸術活動と交流の場としての利用促進
- 地域連携を通じ文化芸術を拡げる  
地元企業や団体等との強固な関係構築  
賑わいの創出による地域の活性化
- 安心・安全な施設管理の強化  
施設維持管理会社が共同事業体へ参画  
効果的・効率的で安定した施設管理

以上

展覧会と関連付けた活動、来館誘致に繋がる活動を実施していく

# 美術館ボランティアに寄せて

協力会々々長 高野 孫左衛門



県立美術館協力が発足して一年、さまざまな話題と課題を抱えながら歩み続けてきた一年である。ミレー、バルビゾン派巨匠のイノーションにめぐらされた感じの強かった県立美術館の予想を上回る今日の人気に何か一抹の不安を心のどこかに覚え、地方美術館の姿をどうしたい、どうもあって欲しいと考えている人は、美術館としてまだ開館後一年を乗り越えない中に二十万人を超える人館者を数えることはたしかに大きな評価であるにちがいない。これだけ沢山の入りに支えられ愛された地方美術館は他に例を見ないだろう。観光と美術館めぐりを組み合わせた地の利も、その一因には違いないが、家族連れのマイカーや帰省の若者のグループがわざわざ訪ねてくる姿に接するのにも珍しいことではない。

山梨が持っていた今までの「文化うすき地方都市甲府」の印象がいっぺんにぬり変えられたと言っている。嬉しいような気もするが一方多少くすぐったい気配すらしさが先に立つ気持で聞く人の方が正直かもしれない。

昨年、十一月の開館をひかえた美術館の準備が進められていた時から、自分達も何か役に立つことはできないだろうかという声がかかされた。或る人は美術館の庭を掃除することも草むしりでもいい、せめて紙くずや空き缶のない、せめて綺麗にしてお手洗いをしたいが、という素朴な申し出も寄せられた。

昨年夏、時を同じくして七月開館する運びになった県ボランティアセンターの運営をまかされる県ボランティア協会の窓口になんか話を持ちこまれたのは昨年の春頃であった。美術館ボランティア、こんな言葉は今までもあり耳にしないものではあったが、自分達の郷土や地域の中にある施設を、行政や他人にまかせっぱなしでなくそこに住む人々のボランティア活動として、その働きの一部をみんなが支え合おうという動きが、県立美術館の開館を前に高まってきたわけである。

（センターにある美術館友の会（ソサエティ・ダミト・ミーツ）は丁度そんなボランティアの働きを実際の美術館活動と組み合わせる組織である。この会は三つの目的を掲げている。一つは美術館所蔵品に一般の人々を親しませること。二つは一般の人々に美術館を宣伝周知させること。三つは美術館の基金を積み立てることである。）

もう数年も前になるがアムステルダムで国立美術館を訪れた時、一老婦人が親切にボランティアの展示されている場所に私を案内してくれた経験が、私にとって美術館ボランティアとの最初の出会いであったことを思い出している。

自分だけが美術をこよなく愛しその環境の中にひたり込むのも一つの美術愛好の道かもしれない。その人がもう一つ視野を広げて自分達の美術館や作品を一人でも多くの人に知ってもらい、愛してもらおうと働きかけることができるならば喜びは更に大きくひろがる。県立美術館に立派な所蔵品が収められていることも、私達にとっては嬉しいことにはちがいない。しかしそれにもまして私達の美術館がたくさんのボランティア（協力会員）によって心を寄せられ、血の通った運営がなされていることは、私達のふるさと山梨にとってやはり大切なこと、文化を育てるふるさとづくりのいとみなではないだろうか。

この夏には美術館野外サマーコンサートが製糖の有志の方々の協力で大盛況裡に開催された。ふるさとへの血につながる美術館づくりに新しい試みとして発足したわが美術館協会のさ、やかな働きが

## 山梨県立美術館協会について

### 山梨県立美術館協力員設置要綱

#### (設置及び目的)

第1条 山梨県立美術館（以下「美術館」という。）の事業に、ボランティア活動をとおりて、美術館の利用者の便宜をはかるとともに円滑な美術館運営を促進し、もって県民のための美術館として地域文化の向上に資することを目的として美術館協力員（以下「協力員」という。）を置く。

#### (活動)

第2条 協力員は、美術館等の利用者に対し必要に応じて、次の活動を行う。

- (1) 鑑賞のための助言及び相談
- (2) 鑑賞者の誘導、案内及び館内外の秩序の維持
- (3) その他必要事項

#### (資格及び委嘱)

第3条 協力員は、美術館が募集し、その応募者の中から館長が委嘱する。

協力員として委嘱した方達が、山梨県立美術館協会の会員として活躍していただいている。

会 長 古屋知子

会 員 139名 (平成31年1月現在) (任期2年：H29. 4. 1～H31. 3. 31)

### 活動内容

- 1 案内担当 来館者の総合案内、誘導、情報提供、PR活動
- 2 解説担当 常設展の展示作品解説、助言、相談等の教育活動
- 3 図書担当 図書室の図書資料の整理
- 4 情報担当 記録写真撮影、DVD等による映画会の開催、他館ポスターの張替
- 5 実技担当 美術体験講座の補助
- 6 ワークショップ担当 作業補助 (造形広場、とびだせ美術館、創作教室他)
- 7 バラ園担当 芸術の森公園内のバラ園の維持管理補助

少しでもお役に立っているとすれば、こんなにうれしかったのではない。